

1. 対象事業	米子市合流式下水道緊急改善計画																																																		
2. 実施主体名称	鳥取県米子市																																																		
3. 計画期間	平成17年度～平成21年度																																																		
4. 対象事業の進捗状況	<p>下記の内容について当初計画通りに実施し完了した。</p> <p>①汚濁負荷量の削減 ・消毒設備の増設(50m<sup>3</sup>/分→100m<sup>3</sup>/分)</p> <p>②公衆衛生上の安全確保 ・未処理放流回数の削減</p> <p>③きょう雑物の削減(スクリーンは既に設置済み)</p>																																																		
5. 目標の達成状況と達成の見通し	<p>改善目標</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>改善目標</th> <th>緊急(5年以内)の改善目標</th> <th>当面(10年以内)の改善目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①汚濁負荷量の削減</td> <td>消毒施設(設備)を増設することで雨水沈殿池での処理量を増強させ、未処理放流負荷及び未処理放流回数の削減を図る。</td> <td>同左</td> </tr> <tr> <td>②公衆衛生上の安全確保</td> <td>中央ポンプ場の遮集倍率を段階的に引き上げる(6Q→12Q)ことで未処理放流回数の削減を図る。</td> <td>同左</td> </tr> </tbody> </table> <p>①汚濁負荷量の削減 →分流並み目標値: BOD放流負荷量1,081Kg/年</p> <p>②公衆衛生上の安全確保 →目標越流回数: 放流回数 37回/年</p> <p>目標に対する達成状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>改善項目</th> <th>評価指標</th> <th>改善前(1)</th> <th>改善目標(2)</th> <th>平成22年度(3) (評価年度)</th> <th>平成23年度(4)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>緊急改善事業</td> <td>合流式下水道改善率</td> <td>0%</td> <td>100%</td> <td>100%</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>①汚濁負荷量の削減</td> <td>年間放流負荷量</td> <td>161,120kg/年</td> <td>160,039kg/年</td> <td>113,799kg/年</td> <td>100,715kg/年</td> </tr> <tr> <td>②公衆衛生上の安全確保</td> <td>未処理下水の放流回数</td> <td>75回/年</td> <td>37回/年</td> <td>12回/年</td> <td>14回/年</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">年間降雨量      時間最大降雨量</p> <table style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>(1) H11年度実績値</td> <td>1,779.0mm/年</td> <td>25.0mm/h</td> <td rowspan="4">} ※代表降雨</td> </tr> <tr> <td>(2) H11年度実績値</td> <td>1,779.0mm/年</td> <td>25.0mm/h</td> </tr> <tr> <td>(3) H22年度実績値</td> <td>1,729.0mm/年</td> <td>26.5mm/h</td> </tr> <tr> <td>(4) H23年度実績値</td> <td>2,167.0mm/年</td> <td>24.5mm/h</td> </tr> </table> <p>※代表降雨:計画策定時(H16年度)に過去10年間(H5～H14)の降雨データのうち、本市の平均的な降雨特性を示している平成11年度を代表降雨として設定を行った。</p>					改善目標	緊急(5年以内)の改善目標	当面(10年以内)の改善目標	①汚濁負荷量の削減	消毒施設(設備)を増設することで雨水沈殿池での処理量を増強させ、未処理放流負荷及び未処理放流回数の削減を図る。	同左	②公衆衛生上の安全確保	中央ポンプ場の遮集倍率を段階的に引き上げる(6Q→12Q)ことで未処理放流回数の削減を図る。	同左	改善項目	評価指標	改善前(1)	改善目標(2)	平成22年度(3) (評価年度)	平成23年度(4)	緊急改善事業	合流式下水道改善率	0%	100%	100%	100%	①汚濁負荷量の削減	年間放流負荷量	161,120kg/年	160,039kg/年	113,799kg/年	100,715kg/年	②公衆衛生上の安全確保	未処理下水の放流回数	75回/年	37回/年	12回/年	14回/年	(1) H11年度実績値	1,779.0mm/年	25.0mm/h	} ※代表降雨	(2) H11年度実績値	1,779.0mm/年	25.0mm/h	(3) H22年度実績値	1,729.0mm/年	26.5mm/h	(4) H23年度実績値	2,167.0mm/年	24.5mm/h
改善目標	緊急(5年以内)の改善目標	当面(10年以内)の改善目標																																																	
①汚濁負荷量の削減	消毒施設(設備)を増設することで雨水沈殿池での処理量を増強させ、未処理放流負荷及び未処理放流回数の削減を図る。	同左																																																	
②公衆衛生上の安全確保	中央ポンプ場の遮集倍率を段階的に引き上げる(6Q→12Q)ことで未処理放流回数の削減を図る。	同左																																																	
改善項目	評価指標	改善前(1)	改善目標(2)	平成22年度(3) (評価年度)	平成23年度(4)																																														
緊急改善事業	合流式下水道改善率	0%	100%	100%	100%																																														
①汚濁負荷量の削減	年間放流負荷量	161,120kg/年	160,039kg/年	113,799kg/年	100,715kg/年																																														
②公衆衛生上の安全確保	未処理下水の放流回数	75回/年	37回/年	12回/年	14回/年																																														
(1) H11年度実績値	1,779.0mm/年	25.0mm/h	} ※代表降雨																																																
(2) H11年度実績値	1,779.0mm/年	25.0mm/h																																																	
(3) H22年度実績値	1,729.0mm/年	26.5mm/h																																																	
(4) H23年度実績値	2,167.0mm/年	24.5mm/h																																																	
6. 対象事業の整備効果の発現状況等	<p>①汚濁負荷量の削減 →目標値を上回る負荷量を削減47,321Kg/年「削減率約1%→約30%」</p> <p>②公衆衛生上の安全確保 →改善前の数値を上回る放流回数を削減「75回→12回」</p> <p>※効果について 評価年度の平成22年度は、年間降雨量及び時間最大降雨量とも代表降雨量(平成11年度)とほぼ差異はなく年間放流負荷量及び未処理放流回数が削減されているため、計画の実施によって整備効果が発現されている。</p>																																																		
7. 事業の効率化に関する取り組み状況	<p>・計画期間は5か年であったが、事業の前倒し等により2か年で事業を行い完了した。</p>																																																		
8. 今後の方針	<p>・放流先である中海(閉鎖性水域)に排出する汚濁負荷量を一層削減するため、内浜処理場の完全高度処理化を図っていく。</p>																																																		